



とよ・たち美肌通信
8月号 vol.145

つよは" 十

夏の花火

今月号のとびたち美肌通信の表紙は、

大きくてきれいな花火が打ちあげられて、

夏の暑い日にピッタリ！ 美味そうなアイスクリーム

や、さくらんぼがポイントのメロンソーダ 🍉

元気にお花も咲いていて、楽しい夏休みですね！

おり紙や工作、絵を描く事が

得意で、ブランクでお友だち

とあそんだり、たねとびを

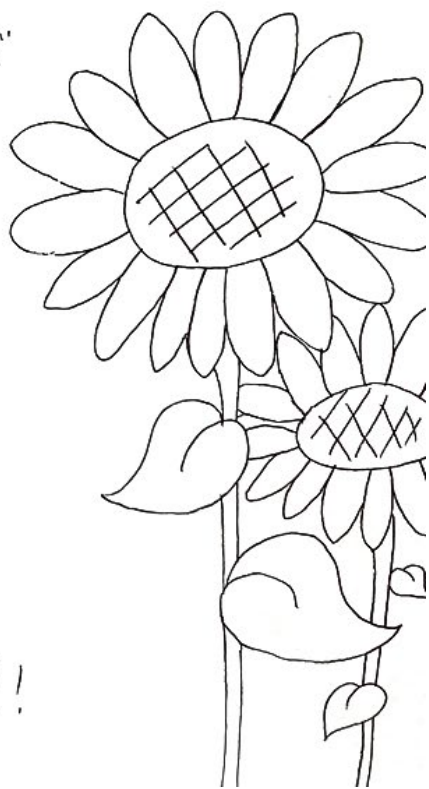
やる事が好きなお女の子が

描いてくださいました 😊

院長はじめスタッフ一同

心より感謝いたします！

ありがとうございます！！



エラーや過誤が生じた時に『甚か違い』をして
しまって...』という人がいます。甚か違いという單
語でカモフラージュして済ませようとする。“甚か違い”
とやらの根っこにあるのは勝手な思い込みであり、
勝手なイメージを持って判断したことによって発生
したミスに他なりません。それは甚か違いではなく
間違いでありミスです。

ヒトは無意識の中で勝手なイメージを持ち
ます。第一印象や会話の中で思い込みや決め
込みを行うことによって情報をタイプ分けし、
分類分別していきます。従って大量の情報を整
理し記憶に残すためにある意味、思い込みや
決め込みも必要な場面も出てきます。

しかしながら『甚か違い』だけで済ませてしまう人は
次もまた必ずといって良い程本人に言わせる所
の『同じ甚か違い』を再度やらかします。

それは反省と改善をしないから。なぜなら
本人にとっては甚か違いであり、自分の実力やレベル
からすれば本来あり得ない事象としてありと思
い込んでいるからです。

同じ事をしないためには、「間違っただ思い込み」
から脱却しなければなりません。

その為には、

- ・ 不勉強である事を認めること。
- ・ 知ったかぶりをするのはやめること。

なぜなら その思い込みが甚か違いという粉ゆ
もなりミスをおかしているのだから。

ミスは起こさない方が良いに決まっていますが、
人間もコンピュータもある一定の確率でミスを
おかします。しかし同様なミスは改善により
防げます。それを「甚か違い」という言葉でやり
変えなければ。
院長, 持